

DEWS2002

ポスター発表&デモ展示  
B4-7「ユーザ適応型マルチメディア情報提示システムの実現」

質疑応答

-----

Q: このシステムの特徴は何なのか?

A: 第一に、静止画、動画、3Dオブジェクト、テキスト、サウンドといったマルチメディアコンテンツを一つの画面上に提示できること。  
第二に、情報の個人化として、元の情報との差分情報の形で利用者の編集結果を出力できること。  
また、メディアの仕様拡張として、動画のリンク機能を実現している。

-----

Q: このシステムで提案している個人化手法とは具体的にどのようなものなのか?

A: 利用者による編集操作を個人化情報としてスクリプトで出力し、元の情報に適用することで利用者の意図を反映させるという手法をとっている。そのため、元の情報に手を加える必要が無いという利点がある。スクリプト言語として、本研究室で開発中のxTricsを利用している。

-----

Q: 今回の実装では、システムの目標のどの部分まで実現できているのか?

A: 現段階で実装できているのは、提示、生成機能と編集機能の一部分のみ。

-----

Q: 利用者の履歴などを元に、コンテンツの自動生成はできるのか?

A: 現段階では不可能。今後の課題とする。

-----

Q: 本形式でのスタイルを利用者の好みなどを元に自動生成すれば面白いのでは?

A: 今後の課題とする。

-----

Q: 博物館形式のスタイルをコンテンツに合わせて自動生成すれば面白いのでは?

A: 今回は博物館となる3Dオブジェクトにメタ情報として配置などの情報を持たせているため、自動生成するのは難しい。  
本提案については、今後の課題とする。

-----

Q: メインとなる画面は無いのか?

A: 現段階では用意していない。  
インタフェース部分の実装も今後の課題である。

-----

Q: 情報の個人化として、利用者に手動で編集させるのでは面白くない。  
利用者の行動や履歴などを元に自動的に個人化情報を出力すれば面白いのでは?

A: 今後の課題とする。

-----

Q: リンク情報などのメタ情報の付加はどのように行っているのか?

A: 現段階では主に手書き。  
GUIによる情報の付加もある程度は可能。

-----

Q: XLinkなどの既存の技術は使っているのか?

A: 現段階では使っていない。  
今回は我々独自のタグセットを用いているので、  
今後はそれら既存技術の採用も検討したい。